

よっ葉だより

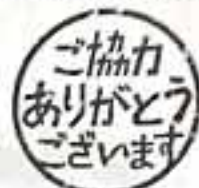
2024 年
2月12日号
No.777

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860

茨城県 862



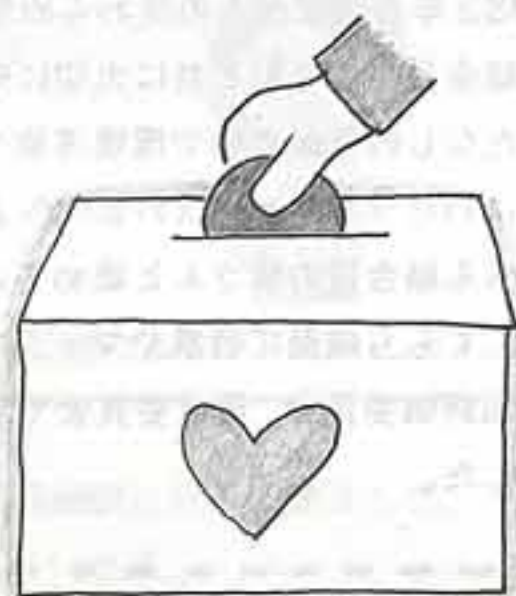
令和6年能登半島地震

多くの募金をありがとうございます。3月まで継続します

1月15日から受け付けをしております能登半島地震への募金について、開始から2週間で350万円を越える募金が届いております。

皆様がお気持ちを届けて下さっている事に、心から感謝します。2月中に一旦日本生協連へお届けします。組合員から寄せられる思いを再建の後押しにつなげていただき、いつまでも日常の暮らしが取り戻せますようにと願います。引き続きのご協力をよろしくお願い致します。

865番 一口100円 3月8日(金)まで受け付けております。



被災地では、大雪や寒波、感染症と隣り合わせにはりながら必死の生活再建が進められています。今回の能登半島地震は、人手の支援も届けるのが難しい厳しい現状ですが、1月27日にやっと石川県内でボランティア派遣が台まりました。

被災地での全国的生協支援活動について

震災直後からは全国的生協からも募金以外に物的、業務支援が行われています。石川県内は道路の損傷が多く、職員も被災されていますが、可能な地域から1月10日から宅配が再開されています。1月29日時点での生協に関わる情報をお知らせします。

コープいしかわでは、日本生協連やコープ北陸、取引業者などから提供された物資が、災害時支援協定に基づいて県内の市町へ希望に

応じて届けられています。コープいしかわでは職員が2名亡くなれております。全国の日本生協連の会員生協から、宅配トラックへの同乗、宅配センターでの受電業務、のと北部センター(穴水町)管内の配達希望者への商品案内などが行われています。全国から20生協(1月29日時点)がコープいしかわへ職員を派遣し、支援業務へ入っています。

石川県生協連(金沢市)は「コープ被災地支援センター」を設置し、地域災害ボランティアセンターや民間団体と連携した支援活動につなげています。日本生協連は、1月10日から現地で宅配同乗支援を行ってきましたが、「コープ被災地支援センター」にも専任者を派遣しています。支援センターでは輪島市の民間炊き出しへの支援、避難所運営支援、民間団体に対する災害物資支援が開台される予定です。

日本生協連職員が1月10日から現地支援に入り、積み込み作業など「のとセンター(七尾市)」での宅配同乗支援を実施している様子



これまでも重なる地震、東日本大震災、また台風や集中豪雨による自然災害では、全国的生協が食料品などの緊急支援物資、日用品のお届け、ボランティアの派遣や募金活動などを行ってきましたが、今後も支援が続きます。

理事長 三輪



1982年の設立からの変わらぬ理念「いのちと健康 くらしを守る」は、生産者や業者、そして組合員の皆さんと共に大切に守ってきました。理念を実践する取り組みは、食の国内自給、待ったなしの気候変動や環境汚染への対応、生きものの多様性の保全やエネルギーの確保等、多岐にわたりますが、次の世代へより良い世界を手渡すための私たちの課題でもあります。これからも組合員の皆さんと進めていくために、「10の取り組み」として具体的な取り組みにまとめ、くらら紙面で特集やマークでもお伝えしています。

商品評価委員会、産直委員会で活動する委員から、よつ葉の「10の取り組み」への思いを聞きました。

(理事長 三輪)

①生産者と消費者の顔が見える産直を

生産者の顔が見える商品を購入できることへの安心感があるので、それを食べて応援していきたいという気持ちが芽生えます。そして消費者である私たちが食の循環を繋げていける場がよつ葉生協です。

(阿久津)



農業体験も大切な活動です！

③環境にやさしい

有機農産物を増やします

産直委員会にて、農家さんを訪問する機会があります。その時にいつも感じるのは、どこの農家さんも自然の声に耳を傾けて対話しながら作物を作っているなあということです。

土地や土壌、農作物、人にも優しいものを作ろうと毎日の時間を底にエネルギーを注ぎ、作られていることと感じさせられます。自分の農作物だけではない地球まるごとを大切にしながら作っているのです。今までにない気象状況や温暖化と折り合いをつけながらも、薬を極力使わず、試行錯誤しながら虫除けの対策をしたりそれぞれのストーリーがありました。そんな農家さんの愛情がたっぷり入った農作物は食べてみた時ものすごいパワーを感じるはず。よつ葉生協が自信をもっておすすめする本物の有機野菜を味わってみてください。

(針谷)

よつ葉の登録有機野菜セットもあります。随時受付中です！

②地元のものを大切にした地産地消

「くらら」の中のたくさんの地産地消マークをいつも嬉しく見えています。自分たちが暮らしている地域で獲れるものを食べる、それを続けていられるのはよつ葉生協のおかげと思っています。

どちらを注文しようかと迷うときに、地産地消マークはとても助かっています。これからも地元の生産者さんを応援し続けるよつ葉生協が大好きです。

(齋藤)

栽培、製造へのこだわり、顔の見える生産者さんたち



年に一度の収穫、製造などで賞味期限が短いものもあります。



④組合員の声を大切に商品づくり

こんなものがあつたらいいなあ、の声を拾い上げて、よつ葉生協の厳しい基準に沿ったものを作っていく。凄い事だと思います。くららに掲載されているものはそれだけでも原材料からチェックされているから市販品に比べ安心、安全と分かっているけどより「安全」って事ですものね。さらにカレールウのように使いやすいよう、好みに合わせられるよう、バリエーションを増やしてくれるのも有り難いです。

(渡辺)

⑤人への悪影響も懸念される ネオニコチノイド系農薬削減

目には見えない農薬ですが、人体への悪影響があるとされているネオニコチノイド系農薬。それを使っているのかどうか自分では分からないので、「くらら」にマークがつくようになって嬉しいです。よつ葉のほとんどの野菜、果物がネオニコチノイド系農薬不使用なことに感動します。

(石川)



参加してみませんか

<お問合せ よつ葉生協 組合員組織部 TEL 0120-07-1613>

栃 木

とちぎ花センターへ行こう！

花と緑に包まれた安らぎの空間に行きませんか？
とちぎ花センターの方に詳しくガイドをいただきます。
日 時：3月14日（木）10：00～12：00（受付9：45～）
会 場：とちぎ花センター（栃木県栃木市岩舟町下津原 1612）
定 員：15人 託 児：な し

参加費：組合員 大人 300 円 子ども 150 円（小中学生以上）
一 般 大人 400 円 子ども 150 円（小中学生以上）
定 員：15人
託 児：な し
締切日：3月1日（金）
主 催：栃木委員会



参加してみませんか

お申し込みを確実に受け取るため、受け付けを QR コードと電話による受付に移行します(2024 年 3 月～)。
共通申込書は 3 月から廃止となります。

- QR コードを読み込むと、よつ葉生協ホームページのイベント案内ページに入ります。
- QR コードを読み込めない方
従来の共通申込書(P4)を切り取り、配送員にお渡しください。3 月からは、お電話による受け付けに変更します。ご協力よろしくお願いします。



富弘美術館へ
行ってみよう！
2023 年 7 月 24 日(月)

星野富弘さんの故郷である、群馬県みどり市東町にある富弘美術館に行ってきました。
その場所は、美しい山並みに湖、澄んだ空気の中に建てられています。
はじめに、学芸員の方から星野富弘さんの幼少期でのさまざまな体験や、闘病生活を強いられ
絵を描くことになったことなど、分かりやすくお話していただきました。
数多くの詩画が展示されていて、文字と絵がひとつの作品になっています。



参加された方々は個々にお気に入りの作品を見つけられていたようです。
ワークショップではクイズラリーが開催されていて、協力しながらお子さ
ま達も楽しまれていました。
詩画ひとつひとつの言葉や詩には、その時々的心情や見る人により受け取
り方も変わり、日々の生活では見過ごしてしまうようなことを、思い出さ
せてくれるような温かい言葉が沢山ありました。
参加してくださった方々と貴重な時間を共有することができ、今後も心を
通わせ合える企画をしていきたいと思っておりますので、ご参加ください。
(文化委員会 菌部)

食品添加物を自分で知り
選び取る力をつけよう！

2023 年 9 月 5 日(火) 高崎市中央公民館



かなり多くの糖分が入っている事は知っていましたが、炭酸やクエン酸が入る事により
甘さを感じなくなる事、人工の香料が入る事で果汁 0%でもオレンジやグレープ等の
ジュースになってしまう怖さを改めて目の前で実験していただきました。

トクホや 0 カロリーの表示にいい物という認識を持ち、多くの人が選んでしまうが、実際に裏側の原
材料を見ると、その飲み物は普通の物より多くの添加物が入っている事がわかります。

農薬の話では、農作物の使用回数や分量の多さや影響力を説明。日本国内の農薬使用量は世界 2 位と
いう残念な話に、食べる人達の健康だけでなく農業者の方
たちの健康もかなり心配になります。

よつ葉生協では使わない、又は使わなくてはならない物
もできるだけ少量で回数も少なくしている事を知り、皆さ
ん一安心ですが、何がどのように危ないのか、きちんと知
る事が一番大事で、どの食品を選ぶのかは自分自身です。

2 時間実験をしながらの松下さんの話は大変勉強になり、
また塩や砂糖等他の話も聞きたいです。ありがとうございました。
(前橋高崎委員会 田嶋祥子)

まず始めに、食品添加物を使って清涼飲
料水を作る実験から講座がスタートしま
した。ぶどう糖液糖 50 g、炭酸水 500ml ク
エン酸、着色料、カラメル色素、香料、こ
れでよくみるコーラが出来上がりました。



このたびよつ葉生協は「とちぎSDGs推進企業」に登録されました(2024 年 1 月 16 日)。
とちぎSDGs推進企業登録制度とは、SDGs達成に向け意欲的な企業活
動に取り組む企業等が「環境」「社会」「経済」の3側面から宣言した内容について
登録する制度です。SDGs達成に向けて主体的な取組を
すすめる、企業価値の向上及び競争力の強化を図ることが
目的です。
今後、よつ葉生協の事業を通じてSDGs達成に
取り組んで参ります。なお登録制度の詳細は、栃木
県産業振興センターのホームページでご紹介しています。



1月20日開催 落ち葉さらい 参加された方の印象に残ったことをおうかがいしました。

参加理由

- 里山を守りたいから、孫と一緒に体験をしようと思いました。

印象に残ったこと

- 参加した皆様が一生懸命に活動していた事。
- お土産と焼きいもがおいしくてうれしかったです。
- 次の日筋肉痛になったので準備体操をしておけば良かったです。

またぜひイベントに参加したいと思いました。

ステキな企画ありがとうございました。

(小山市地区 松本さん)

参加理由

- 生産者の方々への感謝の気持ち♡
- お土産のど食反が美味しいから♡
- 秋山さんのお顔を拝見したいから♡
- 近距離で準備もリナいので気軽に参加出来るから。

印象に残ったこと

- 3年経った落ち葉が あんなに小さくなることに驚いた。
- 里山を守る為には人の手が入らなければいけないことを知った。
- 子供達が亲眼だけではなく他の大人達と自然に協力合って落ち葉さらいをしていた光景。

(小山市地区 山崎さん)

文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先をお願いいたします。

佐野



雪のボール投げ



雪のボール投げ

●タイトル 安藤勇寿「少年の日」ある早春の日展

●日時 4月21日(日)まで

●会場 安藤勇寿「少年の日」美術館(佐野市御神楽町623-1)

●問合せ TEL 0283-67-1080 FAX 0283-67-7030

※料金、休館日等、詳しくはお問合せください。

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告(1月5週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています

(単位:円)

栃木コロナ支えあい基金 (860番)	900
茨城誰かのために募金 (862番)	300
合計	1,200

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。

WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告(1月5週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	2,200
震災孤児を支援する募金 (910番)	16,800
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	4,300
合計	23,300

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。

WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。一口100円の募金になります。

共通申込書

希望する行事名に ☒ してください

口とちぎ花センターへ行こう!

組合員番号	氏名
住所	
連絡のつきやすい電話番号	
参加人数 (大人) 組合員	人 ※同居の家族は組合員に含みます
(大人) 組合員以外	人
(小・中学生)	人 歳 歳 歳
(未就学児)	人 歳 歳 歳
参加者のアレルギー	無・有 ()

託児: 6カ月以上のお子様から 人 歳 歳 歳 歳
お子さんのアレルギー 無・有 ()

備考欄

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/> メールアドレスが変わりました。

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram